

第4回 那須塩原駅周辺まちづくり協議体

協議体レポートについて

令和7年7月3日

協議体レポートについて

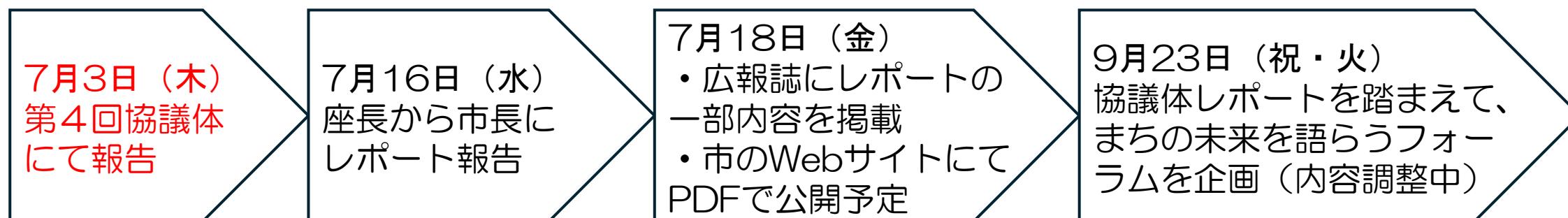
(1)内容

- ・協議体での議論をもとにした目指すまちの姿（パース）とその実現へ向けた提言

(2)趣旨

- ・駅周辺に関心を寄せる市民や企業に目指すまちの姿を共有し、その実現へ向けた持続的なまちづくりへつなげる

(3)公開に向けたスケジュールとその後

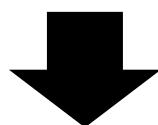


(4)レポートの活用

- ・駅周辺まちづくりや地域課題解決に関心がある関係者、市民や企業へ共有し意見を収集しながら、持続的なまちづくりへつなげる
- ・協議体レポートをもとに民間主体で持続的なまちづくり体制構築を推進

協議体レポートの構成

協議体として目指す駅周辺の
まちの姿をビジュアルで示す



目指すまちの姿へ向けて、具
体的に何をすべきか、提言と
して示す



民間主体で持続的なまちづく
りへと繋げていく



もくじ

1章 協議体が描くまちの姿

- (1) 新たな価値観の創出
- (2) 協議体が描く3つのビジョン
- (3) 駅前の活動イメージ
- (4) 活動イメージの基盤として目指すまちの骨格

2章 6つの提言とこれからの戦略

- 目指すまちづくりへ向けた6つの提言
- 官民連携まちづくりへ向けたこれからの戦略

付録 協議体での議論経緯

協議体が描く未来予想図

こちらのパースは、協議体での議論をもとに描いたまちの「未来予想図」です。

駅から新市庁舎までが、水と緑によってつながり、人を中心としたウォーカブルな空間へと再編されます。

歩行者は駅からデッキを通過して、東那須野大通りへ直接アクセスできるようになります。

駅前広場や東那須野大通りは沿道と一体となつてにぎわいを生み、まちの至るところに人々の居場所が生まれています。

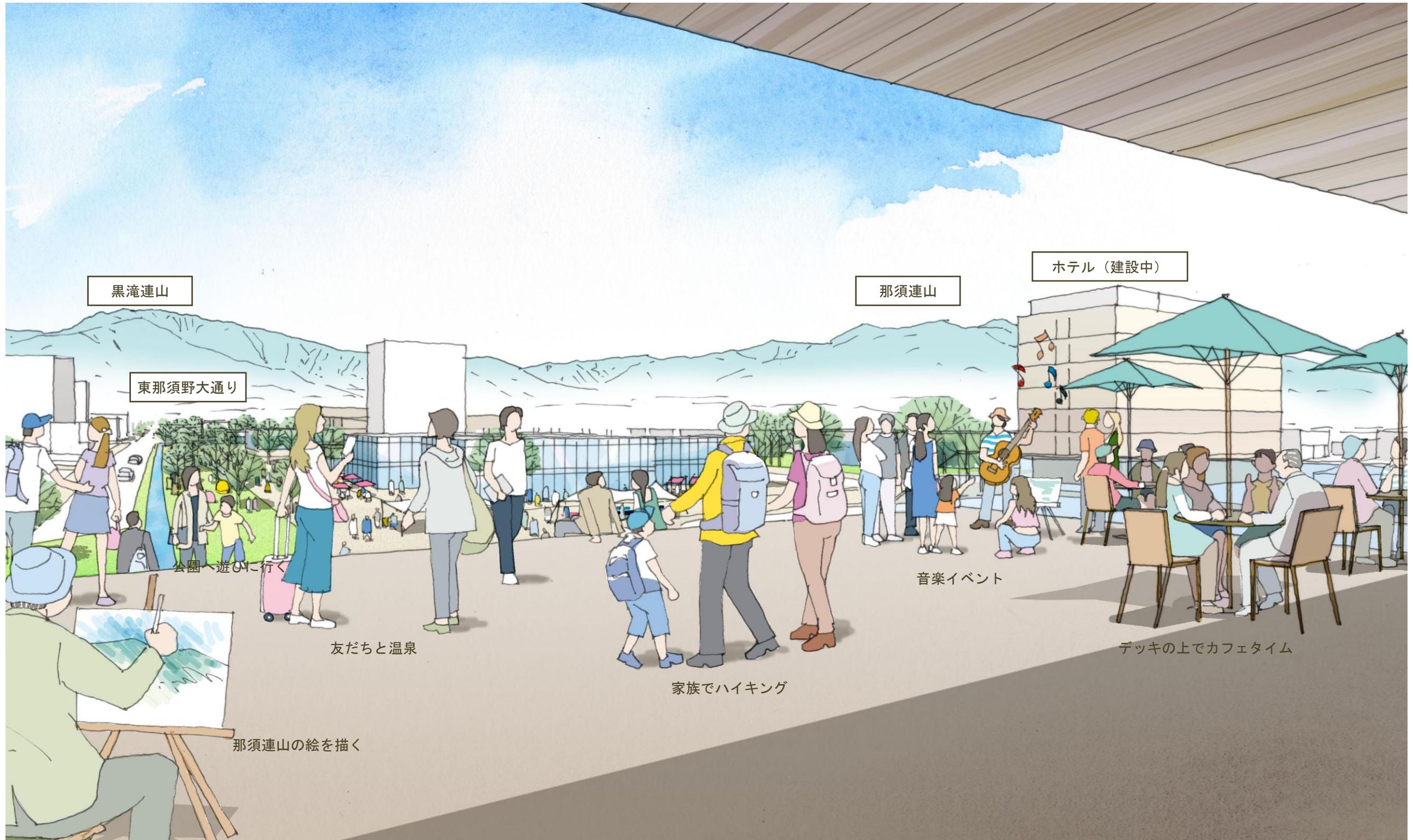
周辺の公園や緑道ともつながり、まちを楽しむ人、歩く人があふれる駅前の風景が広がります。



人中心のウォーカブルな駅前へ

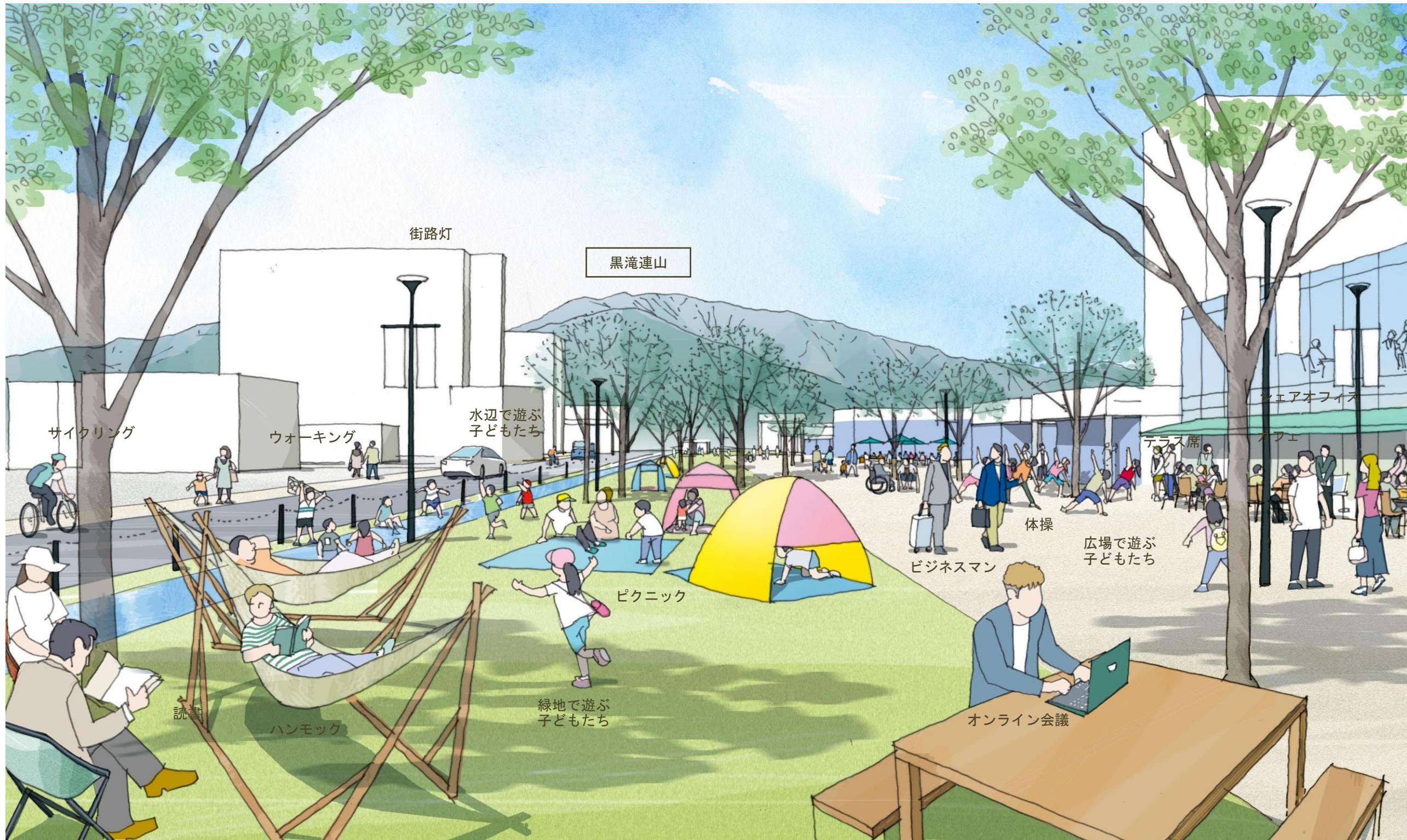
※このパースは、協議体において議論してきた内容を基に作成したものであり、駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません。

実現したい活動イメージ① 山並みが臨めて歩行者空間が広がった駅前広場



※このパースは、協議体において議論してきた内容を基に作成したものであり、駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません。

実現したい活動イメージ② 人々が安心して自由に振る舞う東那須野大通り



※このパースは、協議体において議論してきた内容を基に作成したものであり、駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません。



※このパースは、協議体において議論してきた内容を基に作成したものであり、駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません。

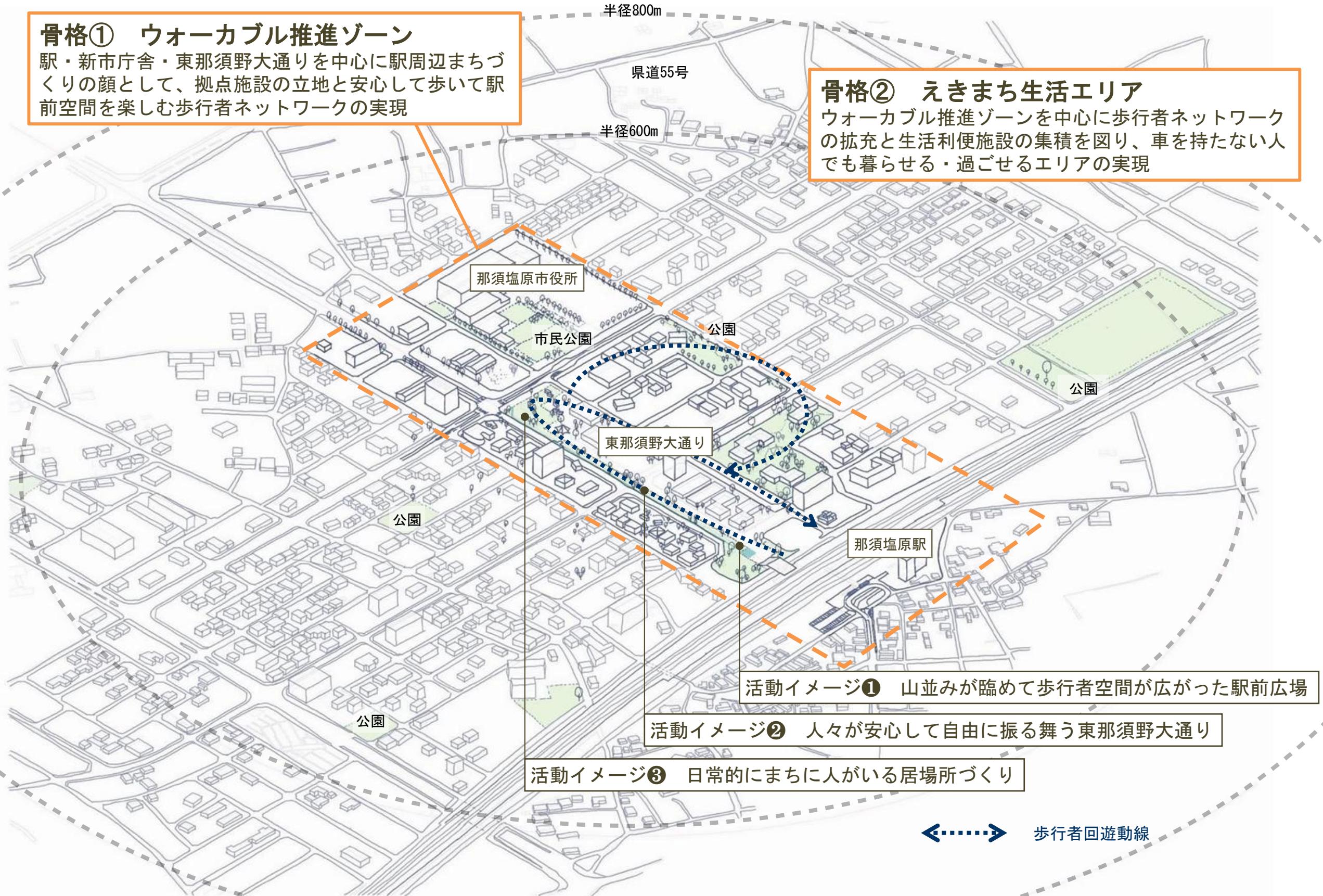
駅周辺まちづくりを通じて実現を目指す「2つのまちの骨格」

骨格① ウォーカブル推進ゾーン

駅・新市庁舎・東那須野大通りを中心に駅周辺まちづくりの顔として、拠点施設の立地と安心して歩いて駅前空間を楽しむ歩行者ネットワークの実現

骨格② えきまち生活エリア

ウォーカブル推進ゾーンを中心に歩行者ネットワークの拡充と生活利便施設の集積を図り、車を持たない人でも暮らせる・過ごせるエリアの実現



目指すまちづくりの実現へ向けた6つの提言

協議体で議論を重ねてきた、未来予想図の実現へ向けた駅周辺に必要な機能や役割、今後の取り組みについて6つの提言としてまとめます。各提言に対する検討方針やアイデアをもとに、今後の議論を継続していくための戦略として官民連携のまちづくりを提示します。

提言1 ウォーカブルで暮らしやすい駅前の実現

提言2 官民一体でシナジーを生む土地利用の推進

提言3 日常的に人が集うサードプレイスづくり

提言4 那須エリアの魅力を伝える都市ブランディング

提言5 世界でここにしかないシンボリックな駅前

提言6 ゼロから立ち上げる民間発意のまちづくり

官民連携まちづくりに向けたこれからの戦略

戦略1 エリアプラットフォームの構築を目指します

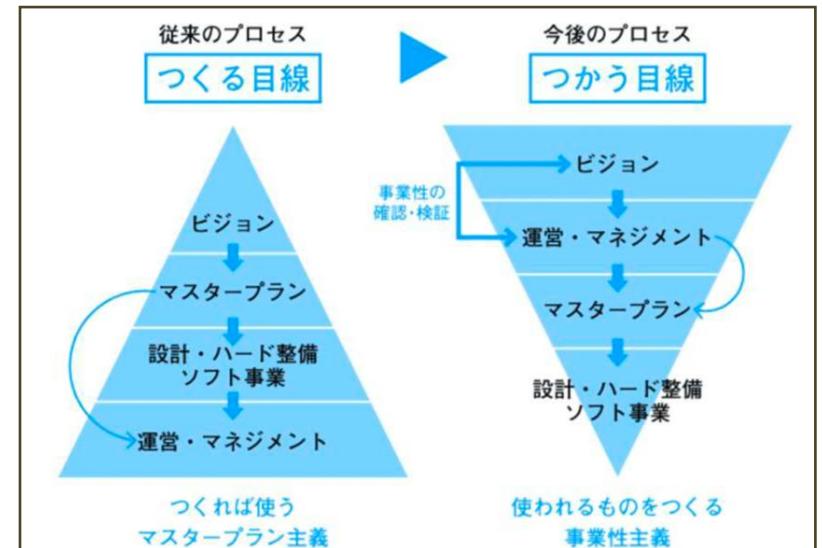
エリアプラットフォームは、まちの将来像を議論し、その実現へ向けた取り組み（＝まちづくり）について議論・調整を行うための場です。協議体レポートに示したまちの「未来予想図」の実現へ向けた官民連携への取り組みの一歩として、エリアプラットフォームの構築を目指します。



出典：国土交通省都市局 官民連携まちづくり普及啓発パンフレット

戦略2 官民連携で「つかう目線」のまちづくりを進めます

これから、官民連携のまちづくりを進めるにあたり、私たちは「つかう目線」を重視したまちづくりを進めていきます。運営やマネジメントについて議論する場を立ち上げ、今後官民連携で進めていく事業について、その事業性の確認と検証をこれまで積み重ねてきたビジョンに照らし合わせながら、まちづくりについて議論・調整を行う場づくりを進めます。



出典：有限会社 ハートビートプラン

戦略3 実験的な取り組みから多様なまちづくりの機運を高めます

まちの「未来予想図」の実現へ向けて、新市庁舎が整備されるタイミング、駅前広場から東那須野大通りが再編されるタイミング、拠点施設が立地するタイミング、様々なまちが変わる機会を見据え、従来の枠にとらわれない新しいアイデアや方法の試行、小規模でも面白い取り組み、地域住民や関係者の関心や参加意欲を高める試みを重ね、まちづくりに対するポジティブな雰囲気や期待感を醸成します。



R6年度公共空間利活用社会実験 『D' harvest Walk Fest』